



東京アマデウス合唱団
第36回定期演奏会
ドイツバロックの夕べ

Georg Philipp Telemann
Dieterich Buxtehude
Nicolaus Bruhns
Johann Rosenmüller
Johann Michael Bach
Johann Christoph Bach
Johann Pachelbel

2017年10月8日 同仁キリスト教会礼拝堂

Tokyo Amadeus Chorus



ご挨拶

本日はお忙しい中をご来場賜り、厚くお礼申し上げます。

今年は、この合唱団が1980年結成以来満37年目に当たりますが、私
がこの合唱団の団長をすることになってから20年目となりました。

この様な演奏会を永年にわたり開催出来ますことは、1988年から12
年間指導者であった故齋藤明生先生のほか、毎回伴奏を引き受けて頂く
海保あけみ先生のグループの方々、更には、2000年以降18年間にわた
る指導者水野克彦先生、等の多大なご尽力の賜物であり、また、お忙し
い中を毎回この合唱団のためにご来場・ご支援を頂いております皆様方
のお陰でもあり、団員一同心から感謝している次第です。

今回は、当合唱団が毎回取り上げているドイツバロックの中で、過去
に演奏した曲も加え、7人の作曲家からいろいろな曲を選び、演奏するこ
とと致しました。

今宵は、ドイツバロックの名曲の響きを皆様にお届けすることが出来ま
すように願っております。

東京アマデウス合唱団 団長 柿沼 哲



P R O G R A M

Georg Philipp Telemann (1681~1767)

Es segne uns Gott (SATB)
私たちに祝福が与えられますように、神さま Continuo

Dieterich Buxtehude (1637~1707)

Walts Gott,mein Werk ich lasse (BuxWV 103)..... (SATB)
神が働いてくださるので、私の仕事をやめましょう VI1, VI2, Continuo

Jesu meines Lebens Leben (BuxWV 62) (SATB)
イエスよ、私の生の命 VI1, VI2, Va1, Va2,Kontrabass, Continuo

Nicolaus Bruhns (1665~1697)

Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden (SATB)
今や我が別れの時が訪れる VI1, VI2, Va1, Va2, Kontrabass, Continuo

… 休 憩 …

Johann Rosenmüller (1619~1684)

Welt ade,ich bin dein müde (SSATB)
世よ、さらば、私はお前に飽きた a cappella

Johann Michael Bach (1648~1694)

Ich weiß,daß mein Erlöser lebt (SATTB)
私は知っている、私の救い主は生きていることを Organ

Johann Christoph Bach (1642~1703)

Es ist nun aus mit meinem Leben..... (SATB)
今や私の生命は終わり Continuo

Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt (SATTB)
義人は、たとえ早逝しても Continuo

Johann Pachelbel (1653~1706)

Was Gott tut,das ist wohlgetan (SATB)
およそ神がなさることは正しい VI1, VI2, Va1, Va2, Kontrabass, Continuo

(選曲 辻村順子)

PROFILE



指揮 水野克彦

東京藝術大学卒業。
ピアノを滝崎鎮代子、クラリネットを千葉国夫、
室内楽を細野孝興の各氏に師事。
オルガンの手ほどきを今井奈緒子氏に受ける。
藝大バツハカンタータクラブに在籍中、小林道夫氏の薫陶を受ける。
日本オルガニスト協会会員。

Symphonia Fons Harmoniae



ヴァイオリンI 海保あけみ

東京藝術大学卒業。
ヴァイオリンを正岡紘子、山岡耕祐、日高毅の各氏に、室内楽を黒沼俊夫氏に師事。
又、藝大バツハカンタータクラブにて小林道夫氏の指導を受ける。
現在フリーの演奏家として、室内楽・オーケストラ等の演奏を中心に活動中。



ヴァイオリンII 片桐恵里

東京藝術大学卒業。同大学院修了。
埼玉県新人演奏会に出演。
ヴァイオリンを掛谷洋三、浦川宜也、
室内楽をピュイグ・ロジェ、ルイ・グレーラーの各氏に師事。
室内楽を中心に活動している。



オルガン 平野智美

東京藝術大学卒業、同大学院音楽研究科修了。
文化庁特別派遣芸術家在外研究員として、イギリスにて研鑽を積む。
チェンバロを鈴木雅明、N・パール、オルガンは今井奈緒子の各氏に師事。
第13回国際古楽コンクール<山梨>チェンバロ部門・最高位受賞。
現在、国立音楽大学および千葉経済大学短期大学部講師。



ヴィオラI 深沢美奈

第3回日本室内楽コンクール入選。1997年、東京藝術大学を経て同大学大学院を修了。
中馬敬子、浦川宣也、河合訓子、菅沼準二の各氏に師事。
オーケストラ リベラ クラシカのメンバー。
モダン、バロックの様々なオーケストラにて活動中。



ヴィオラII 松井啓子

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。
ヴィオラを浅妻文樹氏に、室内楽をルイ・グレーラー氏他に師事。
東京シティフィルに在籍後、フリーの演奏家としてオーケストラ、室内楽を中心に活動中。



チェロ 伊藤恵以子

東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了。
チェロを三木敬之、レーヌ・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。
パリ・エコールノルマルで学ぶ。第48回日本音楽コンクール入選。
Ensemble Deliceのメンバー。



コントラバス 栗田涼子

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。
コントラバスを、永島義男、黒木岩寿の各氏に師事。
2007年、ミュージックマスターズコースinかずさに参加。
バッハ協会管弦楽団の公演に出演するなど、フリーの演奏家として活動中。

Tokyo Amadeus Chorus

PROGRAM NOTES

辻村 順子

ゲオルク・フィーリップ・テレマン Georg Philipp Telemann (1681-1767)

バロック後期を代表する作曲家。マクデブルクで生まれ、ハンブルクで没する。今年には没後250年の記念の年に当たる。ライプツィヒ(1701-1705)、ゾーラウ(1705-1708)、アイゼナハ(1708-1712)、フランクフルト・アム・マイン(1712-1721)を経て、1721年以降は没するまでの46年間、ハンブルクで活躍した。アイゼナハに居た期間にヨーハン・ゼバスティアン・バッハと知り合い、1714年にはバッハの次男カール・フィーリップ・エマヌエル・バッハの名付け親になっている。カンタータやモテット、オラトリオ、受難曲等の声楽曲の他に器楽曲等、膨大な数の作品を残していて、現在確認されているだけでも3,600以上になるという。

Es segne uns Gott, TWV08:8 「私たちに祝福が与えられますように、神さま」

編成は4声(SATB)の声楽パートと通奏低音。埋葬のためのモテットであると思われる。

歌詞：旧約聖書 詩編67編8節。

.....

ディーテリヒ・ブクステフーデ Dieterich Buxtehude (um1637-1707)

オルデスローまたはヘルシングボリで生まれ、リュウベックで没する。今年には生誕380年、没後310年の記念の年に当たる。最初はオルガニストであった父のもとで音楽教育を受け、ヘルシングボリ、ヘルセンゲアの教会でオルガニストを務めた後、1668年以降はリュウベックの聖マリア教会で、亡くなるまでの40年近くオルガニストを務める。ヨーハン・ゼバスティアン・バッハが、ブクステフーデのオルガン演奏を聴くためにアルンシュタットから徒歩でリュウベックを訪れた話は有名である。オルガン曲、宗教的声楽曲を多く書いている。

Walts Gott, mein Werk ich lasse, BuxWV103 「神が働いてくださるので、私の仕事をやめましょう」

編成は4声(SATB)、2本のヴァイオリン、ヴィオローネ、通奏低音。作曲年代は1687年と思われる。歌詞はミヒヤエル・ツィーゲンシュベック(1572-1645)が1617年に出版したChristlich Tag und Uhrwerkという12の詩の中から、1~4、10、12節を用い、最後に「アーメン」を加えた。メロディー

は有名な賛美歌Herzlich tut mich verlangen、或いはO Haupt voll Blut und Wundenが基になっている。

Jesu meines Lebens Leben, BuxWV62 「イエスよ、私の生の命」

編成は4声(SATB)、2本のヴァイオリン、2本のヴィオラ、ヴィオローネ、通奏低音。

エルンスト・クリストフ・ホンブルク(1605-1681)が1659年に出版した受難曲のための8節から成る聖歌の第1~4節と第8節の歌詞を、一部分書き改めて使用している。冒頭のシンフォニアに次いで、2小節単位で繰り返される音型が41回続くが、それは1,000回tausendmalという歌詞を表しているようにも思われる。

.....

ニコラウス・ブルーンス Nicolaus Bruhns (1665-1697)

フーズム近郊のシュヴァープシュテットに生まれ、フーズムで没する。今年には没後320年の記念の年に当たる。シュレーズヴィヒ・ホルシュタインの音楽一族出身で、オルガン、ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバの名手。リュウベック、コペンハーゲンを経て1689年にフーズムに戻り、亡くなるまでフーズム市教会のオルガニストを務める。ブクステフーデの最後の弟子。32歳になる前に亡くなったため作品は少なく、5つのオルガン作品と12の教会カンタータのみが現存する。

Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden 「今や我が別れの時が訪れる」

編成は4声(SATB)、2本のヴァイオリン、2本のヴィオラ、通奏低音。

歌詞：新約聖書テモテへの手紙二、4章6~8節。

.....

ヨーハン・ローゼンミュラー Johann Rosenmüller (um1619-1684)

ツヴィッカウ近郊エルスニツで生まれ、ヴォルフエンビュッテルで没する。エルスニツのラテン語学校で音楽教育を受けた後、ライプツィヒ大学神学部に入学。聖トーマス教会カントルのトビーアス・ミヒヤエル(1592-1657)のもとで音楽の勉強を続け、聖トーマス学校助手、ニコライ教会オルガニストを務め、後にヴェネツィアへ行き、活動期間の大半をそこ

で過ごす。1682年にドイツに戻り、ヴォルフエンビュッテル宮廷の楽長となるが、2年後に同地で没する。多数の器楽曲と宗教声楽曲を残した。

Welt ade, ich bin dein müde **「世よ、さらば、私はお前に飽きた」**

5声(SSATB)。有節形式でホモフォニックなアカペラの葬送歌。歌詞は、以前はヨーハン・ゲオルク・アルビヌス(1624-1679)が1649年に書いたと言われていたが、同じ年にアブラハム・テラーが娘のヨハンナ・マクダレーナのために書いたものという説もある。ヨーハン・ゼバスティアン・バッハのカンタータBWV27の終曲のコーラルとして、そのまま用いられている。

.....

ヨーハン・ミヒャエル・バッハ **Johann Michael Bach (1648-1694)**

バロック中期の作曲家。アルンシュタットで生まれ、46歳でゲーレンにて没する。ヨーハン・クリストフ・バッハ(1642-1703)の弟。兄の後任として、1665年にアルンシュタットの城内礼拝堂オルガニストに就任した。1673年にはゲーレン市のオルガニストになり、チェンバロ等の楽器製作者としても活躍した。ヨーハン・ゼバスティアン・バッハの最初の妻マリーア・バルバラ(1684-1720)の父。作品はオルガン曲、宗教的声楽曲等。

Ich weiß, daß mein Erlöser lebt **「私は知っている、私の救い主は生きていることを」**

編成は5声(SATB)とオルガン。葬送のためのモテット。ソプラノが定旋律で歌うコーラル「キリストは私の生命 Christus, der ist mein Leben」の歌詞と旋律はメルヒオール・ザルピウス(1570-1615)の1609年作で、ATTBが歌う歌詞は旧約聖書ヨブ記19章25-27節。

.....

ヨーハン・クリストフ・バッハ **Johann Christoph Bach (1642-1703)**

アルンシュタットで生まれ、アイゼナハで没する。ヨーハン・ミヒャエル・バッハの兄。また、ヨーハン・クリストフ自身はヨーハン・ゼバスティアンの最初の妻マリーア・バルバラの伯父にあたる。1663年、アルンシュタットの城内礼拝堂オルガニ

ストに任命された。1665年にはアイゼナハのゲオルゲン教会オルガニストと宮廷楽団オルガニスト兼チェンバロ奏者にも任命され、没するまで務めた。チェンバロやオルガン曲、モテットやカンタータ、ミサ曲等を作曲したが、現存する作品はわずかしかない。バッハ一族の中では、ヨーハン・ゼバスティアン以前の最も重要な音楽家である。

Es ist nun aus mit meinem Leben **「今や私の生命は終わり」**

編成は4声(SATB)と通奏低音。葬送のためのモテット。詩と成立年代は不明。「死のアリア Sterb-Aria」の副題がある。各節の最後で「世よ、おやすみ Welt, gute Nacht」という言葉が4回繰り返されるが、その3回目のソプラノの上昇するパッセージが印象的である。

Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt **「義人は、たとえ早逝しても」**

編成は5声(SATB)と通奏低音。葬送のためのモテットで、作曲家ヨーハン・ゲオルク・カルナーの死に際し作曲された(1675年)。歌詞は旧約聖書続編 知恵の書第4章7・10・11・13・14節。

.....

ヨーハン・パッヘルベル **Johann Pachelbel (1653-1706)**

ニュルンベルクに生まれ、同地で没する。アルトドルフ、レーゲンスブルク、ウィーン(1673-1677)、アイゼナハ(1677-1678)、エルフルト(1678-1690)等を経て、1695年以降は没するまでニュルンベルクの聖ゼバルト教会オルガニストを務めた。アイゼナハ時代にはヨーハン・ゼバスティアン・バッハの実父アンブロジーウス・バッハと友人になり、その息子のヨーハン・クリストフ・バッハにも薫陶を与えている。

Was Gott tut, das ist wohlgetan **「およそ神がなさることは正しい」**

編成は4声(SATB)、2本のヴァイオリン、2本のヴィオラ、ファゴット、通奏低音。

ザムエル・ローディガスト(1674年作)のコーラル全節を用いたコーラルカンタータで、歌詞はあらゆる時節に使用できる内容である。

歌 詞 対 訳

ゲオルク・フィーリップ・テーレマン

Georg Philipp Telemann

Es segne uns Gott

私たちに祝福が与えられますように、神さま

Es segne uns Gott, unser Gott,
und alle Welt fürchte ihn.

私たちに祝福が与えられますように、神さま、私たちの神さま、
そして全世界が神を畏れるようになりますように。

(歌詞：旧約聖書 詩編 67 編 7、8 節)

対訳 野口 碩

ディーテリヒ・ブクステフーデ

Dieterich Buxtehude

Walts Gott, mein Werk ich lasse BuxWV103

神が働いてくださるので、私の仕事をやめましょう ブクステフーデ作品番号 103

1.

Walts Gott, mein Werk ich lasse,
die Sonn Feirabend meldt.
Sie hat vollendt ihr Straße,
schleicht wieder in ihr Zelt.
So mögen auch mein Sachen
anstehen diese Zeit.
Ich will Feirabend machen
mit schuldger Dankbarkeit.

神が働いてくださるので、私の仕事をやめましょう、
太陽は仕事の終わりを告げています。
太陽は自分の軌道を完走し、
再び自分の天幕へとゆっくり入っていきます。
そのように私の行きもまた、
この一時の間はやめておいてもかまいません。
私は仕事を終えるつもりです、
然るべき感謝を込めながら。

2.

Mein Augen, Herz und Hände,
o Jesu, Gottes Sohn,
zu dir ich nunmehr wende
zum schuldgen Tagelohn,
denn du bist selbst getreten
an meine Werkstatt gut,
hast helfen mir arbeiten,
regiert mein' Sinn und Mut.

私の両眼、心、そして両手を、
おおイエス、神の御子よ、
あなたへと今や私は向けます、
然るべき日当を手にするために。
なぜならあなたがご自身で
私の仕事場に親切に歩み寄られ、
仕事を助けてくださり、
私の思いと気力を支配してくださったからです。

3.

Mein Haupt hast du gestärket,
mein' Fingern geben Kraft.
Hab deinen Segn vermerket,
der allein frommen schafft.
Daher ist wohlgeraten
mein Arbeit und mein Kunst.
Ohn dich geht nichts von statten,
ohn dich ist alls umsonst.

私のこうべをあなたは強め、
私の指に力を与えられました。
私はあなたの祝福を心に留めました、
その祝福だけが役立っているのです。
それがもてで上手くいっているのです、
私の仕事も技も。
あなた無しでは、滞ってしまった仕事から何も産まれず、
全てのことは無駄なのです。

4.

Drum ich von Herzens Grunde
dich, Herr Gott, lob und preis

それだから私は心の底から
あなたを、主なる神よ、ほめ讃えます、

in dieser Abendstunde
und bitt mit ganzem Fleiß,
du wollst mich gnädig hören
und immer mehr und mehr
das Gut in mir vermehren
zu deines Namens Ehr.

5.

Erhöre nun mein Bitten,
ach Herr, du treuer Gott!
Die Stadt wollst du behüten
für Feur und aller Not;
und weil die Feinde toben,
erregen Krieg und Streit,
so sende uns von oben
den Fried zu unsrer Zeit.

6.

Hiermit ich nun vollende
dies mein Geschäft und Sach
und herzlich bitt zum Ende:
Herr, den Feirabend mach,
drauf der Sabbat angehet,
der währt viel tausend Jahr,
der ewiglich bestehet.
Amen, das werde wahr:

この夕刻に。

そして心から熱心に願います、
あなたが私の声を慈悲深く聞こうとごさださり、
そしてますます
富を私に増してごさださり、
それによってあなたの御名に栄光が歸されることを。

さて、私の願い事を聞き届けてごさださい、
ああ主よ、あなた、誠実な神よ。
町をあなたが守り、
火災を、そして全ての窮乏を防ごうとなさいますように。
なぜなら敵たちが暴れ、
戦争といざかいにいきり立っているからです。
それだから私たちに天上からお送りごさださい、
私たちの時代に平和を。

この言葉をもって今や私は終えます、
私のこの商売業務を。
そして終わりにあたって心から願います、
主よ、仕事じまいをさせてごさださい、
この後、安息日が始まるのです。
安息日は遙か昔から続き、
とこしえに有り続けるのです。
アーメン、それがまこととなりますように。

(歌詞：Michael Ziegenspeck 1572-1645)
対訳 水野克彦

ディーテリヒ・ブクステフーデ Dieterich Buxtehude

Jesu meines Lebens Leben BuxWV62

イエスよ、私の生の命 ブクステフーデ作品番号 62 (シャコンヌ風カンタータ)

Sinfonia

シンフォニア (序曲)

1.

Jesu, meines Lebens Leben,
Jesu, meines Todes Tod,
der du dich vor mich gegeben
in die tiefste Seelennot,
in das äußerste Verderben,
nur daß ich nicht möchte sterben;
tausend-, tausendmal sei dir,
liebster Jesu, Dank dafür.

イエスは私の生きるための命、
イエスは私の死ぬために死んでくださる方、
あなたは私のために
いとも深き苦しみのなかに、
極度の破滅のなかに身をお与えになった。
ただ、私は死にたくなっただけなのに。
その事のゆえに何千回もの感謝が
最愛なるイエスよ、あなたにささげられなければなりません。

2.

Du, ach, du hast ausgestanden
Lästerreden, Spott und Hohn,
Speichel, Schläge, Strick und Banden,
du gerechter Gottessohn,
nur mich Armen zu erretten
von des Teufels Sündenketten;
tausend-, tausendmal sei dir,
liebster Jesu, Dank dafür.

ああ、あなたは
悪口にも、嘲笑にもあざけりにも、
つばにも、打擲(ちょうちやく)にも、束縛にも枷にも耐え通された、
あなたは正しい神の御子であられるのに、
ただ私のような貧しい者達を
悪魔の罪の束縛から救い出すために。
その事のゆえに何千回もの感謝が
最愛なるイエスよ、あなたにささげられなければなりません。

3.

Du hast lassen Wunden schlagen,
dich erbärmlich richten zu,
um zu heilen meine Plagen,
um zu setzen mich in Ruh;
ach, du hast zu meinem Segen
lassen dich mit Fluch belegen;
tausend-, tausendmal sei dir,
liebster Jesu, Dank dafür.

あなたは打ち傷をつけさせ、
ご自分をみじめな姿にされた、
私の苦悩を癒すために、
私を平安の状態に置くために。
ああ、あなたは私の幸せのために、
御自分を罵りを浴びるがままにされた。
その事のゆえに何千回もの感謝が
最愛なるイエスよ、あなたにささげられなければなりません。

4.

Man hat dich sehr hart verhöhnet,
dich mit großem Schimpf belegt,
gar mit Dornen angekrönet,
was hat dich dazu bewegt,
daß du möchtest mich ergötzen,
mir die Ehrenkron aufsetzen;
tausend-, tausendmal sei dir,
liebster Jesu, Dank dafür.

人間はあなたを極めて辛辣にあざけり、
あなたに大きな辱めを加え、
更にその上とげで頭を飾らせた、
何があなたをその気にならせたのか、
私を喜ばせたい、
私に栄光の冠を戴かせたいと。
その事のゆえに何千回もの感謝が
最愛なるイエスよ、あなたにささげられなければなりません。

5.

Ich danke dir von Herzen,
Jesu, Jesu, vor gesamte Not,
vor die Wunden, vor die Schmerzen,
vor den herben, bittern Tod,
vor dein Zittern, vor dein Zagen,
vor dein tausendfaches Plagen;
tausend-, tausendmal sei dir,
liebster Jesu, Dank dafür.
Amen.

私は心からあなたに感謝します、
イエスさま、イエスさま、すべてのお苦しみのゆえに、
傷のゆえに、お痛みのゆえに、
辛い、むごい死のゆえに、
あなたの戦慄(おのの)きのゆえに、あなたの恐れ(おのの)のゆえに、
あなたの何千倍もの心労のゆえに。
その事のゆえに何千回もの感謝が
最愛なるイエスよ、あなたにささげられなければなりません。
アーメン(そうありますように)

(Ernst Christoph Homburg 1659 年作 Evangelisches Kirchen Gesangbuch 所収)
対訳 野口 碩

ニコラウス・ブルーンズ
Nicolaus Bruhns

Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
今や我が別れの時が訪れる

Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden,
ich habe einen guten Kampf gekämpft,
ich habe den Lauf vollendet,
ich habe Glauben gehalten.

Hinfort ist mir beigelegt
die Krone der Gerechtigkeit,
welche mir der Herr an jenem Tage,
der gerechte Richter, geben wird,
nicht mir aber allein, sondern auch allen,
die seine Erscheinung liebhaben.

今や我が別れの時が訪れる、
私はよく戦った、
私は完走した、
私は信仰を守った。

これからさき、私に与えられるのは
義の冠である。
かの日、主が私に王冠を、
公正な審判者よ、与えてくださるであろう。
しかも私一人ではなく、
また、主のお出ましを喜ぶすべての人々に。

(歌詞：新約聖書 テモテへの手紙二 4章6-8節)
対訳 水野克彦

… 休憩 …

ヨーハン・ローゼンミュラー
Johann Rosenmüller

Welt ade, ich bin dein müde
世よ、さらば、私はお前に飽きた

1.
Welt ade, ich bin dein müde,
ich will nach dem Himmel zu!
Da wird sein der rechte Friede
und die ewig stolze Ruh.
Welt, bei dir ist Krieg und Streit,
nichts denn lauter Eitelkeit;
in dem Himmel allezeit
Friede, Freud und Seligkeit.

2.
Wenn ich werde dahin kommen,
bin ich aller Krankheit los
und der Traurigkeit entronnen,
ruhe sanft in Gottes Schoß.
In der Welt ist Angst und Not,
endlich gar der bittre Tod;
aber dort ist allezeit
Friede, Freud und Seligkeit.

世よ、さらば、私はお前に飽きた、
私は天国を目指そう！
そこには本当の平安があり、
そして永遠に誇るに足る憩いがあるであろう。
世よ、お前のもとには戦争と争いがあり、
あからさまな虚栄心以外になにもない。
しかし天国では常に
平安と喜びと至福がある。

あちらへ行けば、
私はすべての病いから解放され、
そして悲しみから逃れられ、
神様の膝で安らかに憩う。
この世では不安と苦しみがあり、
それどころか最後にはむごい死がある。
しかしあちらではいつも
平安と喜びと至福がある。

3.

Unaussprechlich schöne singet
Gottes auserwählte Schar:
Heilig, Heilig, Heilig klinget
in dem Himmel immerdar,
Welt, bei dir ist Spott und Hohn
und ein steter Jammerton;
aber dort ist allezeit
Friede, Freud und Seligkeit.

言い表せないほどに美しさを賛美するのだ、
神に選ばれた群れは。
聖なるかな、聖なるかな、聖なるかなと響いているのだ、
天国では永遠に。
世よ、お前のもとではあざけりと侮蔑と
そして絶え間ない嘆きの声がある。
しかし彼方には常に
平安と喜びと至福がある。

対訳 水野克彦

ヨーハン・ミヒャエル・バッハ
Johann Michael Bach

Ich weiß, daß mein Erlöser lebt

私は知っている、私の救い主は生きていることを

Ich weiß, daß mein Erlöser lebt,
und er wird mich hernach
aus der Erden wieder auferwecken,

私は知っている、私の救い主は生きていることを、
そして彼は私をすぐに
土から再びよみがえらせてくれることを。

(Choral)

Christus, der ist mein Leben,
Sterben ist mein Gewinn,

(コラール)

キリストは私の生命、
死は私の益である。

und werde darnach
mit dieser meiner Haut umgeben werden,
und werde in meinem Fleisch Gott sehen;
denselben werde ich mir sehen.

そしてその次に
よみがえった私の身体は皮膚で覆われ、
その肉体でもって神を見るであろう。
私は神を見るであろう。

(Choral)

dem tu ich mich ergeben,
mit Freud fahr ich dahin.

(コラール)

私はキリストに従い、
私は喜んで世を去る。

und meine Augen werden ihn schauen,
und kein Fremder.

そして私の両眼は神を見る、
他人がではなくこの私が見る。

(歌詞：旧約聖書 ヨブ記 19 章 25-27 節 コラールの歌詞と旋律：Melchior Vulpius 1609)

対訳 水野克彦

ヨーハン・クリストフ・バッハ

Johann Christoph Bach

Es ist nun aus mit meinem Leben

今や私の生命は終わり

1.

Es ist nun aus mit meinem Leben,
Gott nimmt es hin, der es gegeben.
Kein Tröpflein mehr ist in dem Faß,
es will kein Fünklein mehr verfangen,
des Lebens Licht ist ausgegangen.
Kein Körnlein läuft mehr in dem Glas,
es ist nun aus, es ist vollbracht,
Welt, gute Nacht, Welt, gute Nacht!

2.

Komm Todestag, du Lebenssonne,
du bringest mir mehr Lust und Wonne,
als mein Geburtstag bringen kann,
du machst ein Ende meinem Leiden,
das sich schon mit den Kindtaufsfreuden,
vor jenen hat gefangen an,
nun ist es aus, es ist vollbracht,
Welt, gute Nacht, Welt, gute Nacht!

3.

Gott Lob! Jetzt kann ich recht genesen,
mein Sodom bist du mir gewesen,
o Sündenwelt, du Lasterhaus.
Der Tod soll mir ein Engel heißen,
der mir wie Lot den Weg kann weisen,
ich folg mit Freuden nur hinaus,
hinaus eh' Gottes Donner kracht,
Welt, gute Nacht, Welt, gute Nacht!

4.

Du warst mir auch mein Ägypten,
da mich viel Kreuzeshenker wippen
bis auf die Tränen und das Blut.
Der Tod will aus den Dienstbarkeiten
mit Israel mich ausbegleiten,
wie kommst du Freiheit mir zugut!
Es ist nun aus, es ist vollbracht,
Welt, gute Nacht, Welt, gute Nacht!

今や私の生命は終わり、
神は与えて下さった生命をお召しになります。
もはや身体の樽の中には生命が一粟もなく、
もはや生命の炎は少しも役に立ちそうになく、
生命の光は消えました。
もはや一粟の生命もグラスに滴らず、
今や終わりです。すべて済みました。
世よ おやすみ、世よ おやすみ。

来なさい、世を去る日よ、お前、生命の太陽よ、
お前は楽しみと喜びを私にもっともたらすがよいのです、
私の誕生の日がもたらすことのできるよりも。
お前は、私の苦しみを終わりにします。
既に幼児洗礼の喜びと共に、
誕生の日のゆえに始まったその苦しみを。
今や終わりです。すべて済みました。
世よ おやすみ、世よ おやすみ。

神を讃美せよ。今、私は随分と回復できます、
お前は私にとってソドムでした、
お前罪の世よ、おまえ、悪徳の家よ。
死は私にとっては天使です、
ロトに道を示したと同じように、私にも道を示せる天使です、
私はただただ喜んで先へと従って行きます、
先へとです、神の雷が轟音を響かせる前に。
世よ おやすみ、世よ おやすみ。

(引用：旧約聖書 創世記 19 章 1—29 節)

お前は私にとって我がエジプトでもありました、
そこで十字架刑執行人たちが私を散々に吊るしたのです、
涙と血が出るまでに。
死は隷属から
イスラエルと共に私を導き出すでしょう、
自由よ、お前は何と私に役立つことでしょうか。
今や終わりです。すべて済みました。
世よ おやすみ、世よ おやすみ。

(引用：旧約聖書 出エジプト記)

5.

Wie gerne will ich von dir scheiden,
von dir und deinem Jammerleiden,
o Welt, mein Babel warest du,
die manchen Handel mir verwirret,
daß ich wie eine Taub' gegirret
durch Weinen, Seufzen immerzu,
nun ist es aus, es ist vollbracht,
Welt, gute Nacht, Welt, gute Nacht!

6.

Welt, gute Nacht! Behalt das Deine
und laß mir Jesum als das Meine,
denn ich laß meinen Jesum nicht!
Behüt euch Gott, ihr meine Lieben,
laßt meinen Tod euch nicht betrüben,
durch welchen mir so wohl geschieht;
mein Leid ist aus, es ist vollbracht,
Welt, gute Nacht, Welt, gute Nacht!

7.

Was wollet ihr euch nach mir sehnen?
Ei stillet, stillet eure Tränen,
weil meine schon gestillet sind,
mir wischt sie Jesus von den Augen,
was sollen denn die euren taugen,
und lachtet mit mir als ein Kind.
Was Jesus macht, ist wohlgemacht!
Welt, gute Nacht, Welt, gute Nacht!

ヨーハン・クリストフ・バッハ

Johann Christoph Bach

**Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
義人は、たとえ早逝しても**

Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt,
ist er doch in der Ruhe.

Er gefällt Gott wohl und ist ihm lieb
und wird weggenommen
aus dem Leben unter den Sündern
und wird hingerücket,

私はなんと満足してお前から別れるつもりでしょう、
お前とそして嘆きの病から。
おお、世よ、お前は我がバベルです、
お前は多くの物事について私を混乱に落としめず、
それだから私は、鳩がクークーと鳴くように、
涙と溜め息をもって絶えず鳴きましたが、
今や終わりです。すべて済みしました。
世よ おやすみ、世よ おやすみ。

(引用：旧約聖書 創世記11章)

世よ、おやすみ。お前の財産を手元に置いておきなさい、
しかし私には財産としてイエスを手元に置かせなさい。
なぜなら私は私のイエスを捨てないからです。
さようなら、お前達、私の家族たちよ、
お前達は私の死を悲しんだりすることはありません、
死を通して私はとても幸せになるのです。
私の苦しみは終わりました、すべて済みしました。
世よ おやすみ、世よ おやすみ。

お前達は私に何を切望するつもりなのですか。
さあ、止めなさい、お前達の涙を止めなさい、
私の涙はすでに止まっているのですから。
イエスが私の両眼から涙をぬぐって下さるのです。
いったいお前達の涙がどんな役に立つというのですか、
だから私と一緒に前達も子供らしく笑うのです。
イエスがなさる事は完全なのです。
世よ おやすみ、世よ おやすみ。

(歌詞：Magnus Daniel Omeis 1673)

対訳 水野克彦

義人は、たとえ早逝しても、
それでも憩いのうちにある。

(旧約聖書続編 知恵の書4章7節)

彼は神に気に入られ、好ましく思われ、
召されて、
罪人たちとの生活から連れ出され、
そして移されるのである。

daß die Bosheit seinen Verstand
nicht verkehre,
noch falsche Lehre seine Seele betrübe;

er ist bald vollkommen worden
und hat viel Jahr erfüllet.
Denn seine Seele gefällt Gott wohl.
Darum eilet er mit ihm
aus dem bösen Leben.

ヨーハン・パツヘルベル
Johann Pachelbel

Was Gott tut, das ist wohlgetan
およそ神がなさることは正しい

Sonata

1.

Was Gott tut, das ist wohlgetan,
es bleibt gerecht sein Wille;
wie er fängt meine Sachen an,
will ich ihm halten stille.
Er ist mein Gott, der in der Not
mich wohl weiß zu erhalten:
drum laß ich ihn nur walten.

Sonata

2.

Was Gott tut, das ist wohlgetan,
er wird mich nicht betrügen;
er führet mich auf rechter Bahn,
so laß ich mir genügen
an seiner Huld und hab Geduld,
er wird mein Unglück wenden,
es steht in seinen Händen.

3.

Was Gott tut, das ist wohlgetan,
er wird mich wohl bedenken;
er als ein Arzt und Wundermann
wird mir nicht Gift einschenken
für Arznei; Gott ist getreu,
drum will ich auf ihn bauen
und seiner Güte trauen.

悪意が彼の理性を
捻じ曲げることがないように、
さらには偽りの教えが彼の心を暗くしないようにと。

(旧約聖書続編 知恵の書4章10-11節)

彼はやがて完全な者となり、
多くの年を重ねた。
なぜなら、彼の魂は神に気に入られているからだ。
それゆえ神は義人を速やかに
悪の生活から連れ出される。

(旧約聖書続編 知恵の書4章13-14節)

対訳 水野克彦

ソナタ

およそ神がなさることは正しい、
神の御意志はいつまでも公明正大である。
神が私に関わる事柄を始めてくださるので、
私は静かに神と共にいよう。
彼は私の神である。神は、苦境の中にいる
私を養うすべを十分に心得ておられる。
それゆえ私はただ神のみに支配していただくのだ。

ソナタ

およそ神がなさることは正しい、
神は私を欺かれない。
神は私を正しい道に導いてくださる。
それだから私は満足である、
神の恩寵によって。そして忍耐するのだ、
神は私の不運を挽回してくださるであろう、
それは神の御手の内にあるのだから。

およそ神がなさることは正しい、
神は私のことを十分に考えてくださる。
神は、医者や奇跡を行なう人のごとく、
私に毒ではなく、
薬を与えてくださる。神は誠実なお方であるから、
それゆえ私は神に頼ろう、
そして神の善意に信頼しよう。

4.

Was Gott tut, das ist wohlgetan,
er ist mein Licht und Leben,
der mir nichts Böses gönnen kann,
ihm will ich mich ergeben
in Freud und Leid, es kommt die Zeit,
da öffentlich erscheint,
wie treulich er es meineth.

Sonata

5.

Was Gott tut, das ist wohlgetan,
muß ich den Kelch gleich schmecken,
der bitter ist nach meinem Wahn,
laß ich mich doch nicht schrecken,
weil doch zuletzt ich werd ergötzt
mit süßem Trost im Herzen,
da weichen alle Schmerzen.

6.

Was Gott tut, das ist wohlgetan,
dabei will ich verbleiben;
es mag mich auf die rauhe Bahn
Not, Tod und Elend treiben,
so wird Gott mich ganz väterlich
in seinen Armen halten;
drum laß ich ihn nur walten.

およそ神がなさることは正しい、
神は私の光であり生命であり、
私にどんな災難もお与えになるはずがないから、
私は神に服従しよう、
喜びのときにも苦しみのあるときにも。時が来れば、
そのとき、明らかになるのだ、
どれほど神が誠実なお方であるかが。

ソナタ

およそ神がなさることは正しい、
私はまもなく杯を口にしなければならぬ、
その杯は我が迷いのごとく苦しいけれども、
私はそれでも驚かされない。
ついには私は楽しませてもらうのだから、
心に甘美な慰めを覚えながら。
そのとき全ての苦しみは消え去っているのだ。

およそ神がなさることは正しい、
私は神のところにとどまっていよう。
私は荒涼とした道へ、
苦境、死、そして悲惨へと追い立てられるかもしれないが、
そうならば神は私を全く父親のように
その両腕で支えてくださるであろう。
それゆえ私はただ神のみに支配していただくのだ。

(歌詞：Samuel Rodigast 1675 旋律：Severus Gastorius 1675)

対訳 水野克彦

演奏会の記録

	開催年月	主な演奏曲目	指揮	会場
第1回	1981.02	モーツァルト (レクイエム<ジュスマイヤー版>)	寺村博司	石橋メモリアル
第2回	1981.11	ヘンデル (メサイア)	渡辺央己	中央会館
第3回	1982.11	フォーレ (レクイエム)、ジョスカン・デ・プレ、シュッツ	鈴木 優	東京カテドラル
第4回	1983.09	モーツァルト (戴冠式ミサ)、ヴィクトリア	黒岩英臣	東京カテドラル
第5回	1984.09	モーツァルト (レクイエム<ジュスマイヤー版>)	黒岩英臣	東京カテドラル
第6回	1985.10	J.S.バッハ (カンタータ106)、ブクステフーデ、ハスラー	宮本昭嘉	石橋メモリアル
第7回	1986.10	モーツァルト (グローセミサ)、ヴィクトリア	鈴木 優	練馬文化センター
第8回	1987.10	シュッツ (ムジカリッシェ・エクゼクイエン)、ハスラー (ミサ・セクンダ)	鈴木 優	石橋メモリアル
第9回	1988.12	モーツァルト (ヴェスペレ339)、J.ハイドン	齋藤明生	駒場エミナース
第10回	1989.11	モーツァルト (レクイエム<バイヤー版>)	齋藤明生	練馬文化センター
春の小演奏会	1990.05	ジョスカン・デ・プレ (パンジェ・リングワ)、ハスラー	齋藤明生	石橋メモリアル
第11回	1991.02	モーツァルト (リタニア243)、J.M.ハイドン (ヴェスペレ)	齋藤明生	石橋メモリアル
第12回	1991.11	モーツァルト (ドミニクス・ミサ、サンクタ・マリア・マーテル・デイ)	齋藤明生	川口リリアホール
第13回	1992.11	シャルパンティエ (真夜中のミサ)、シュッツ、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第14回	1993.11	モーツァルト (ミサ・プレヴィイス275)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
15周年記念	1994.11	モーツァルト (レクイエム<ドルース版>) 渋谷混声と合同	齋藤明生	新宿文化センター
第15回	1995.10	J.S.バッハ (カンタータ182)、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第16回	1996.11	モーツァルト (ヴェスペレ339)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
第17回	1997.10	モーツァルト (ミサ・ソレムニス337、テデウム・ラウダムス)	齋藤明生	石橋メモリアル
第18回	1998.10	J.S.バッハ (カンタータ61・196)、D.スカルラッティ	齋藤明生	石橋メモリアル
第19回	1999.10	ラインベルガー (スタバト・マーテル)、J.M.ハイドン、フルックナー	齋藤明生	石橋メモリアル
斎藤先生追悼	2000.07	ハスラー、メンデルスゾーン、ホミリウス	水野克彦	同仁キリスト教会
クリスマス	2000.12	四つのアヴェマリア(アルカデルト、ジョスカン・デ・プレ、ヴィクトリア、パレストリーナ)	水野克彦	旧上野奏楽堂
第20回	2001.11	モーツァルト (トリニターティス・ミサ)、J.ハイドン	水野克彦	石橋メモリアル
第21回	2002.10	ドイツ・バロック (J.C.F.バッハ、シュッツ、ブクステフーデ)	水野克彦	所沢文化センター
第22回	2003.11	ラインベルガー (スタバト・マーテル)、アルブレヒツベルガー	水野克彦	ルーテル市谷センター
第23回	2004.10	D.スカルラッティ、パレストリーナ、モンテヴェルディ	水野克彦	カトリック麻布教会
第24回	2005.11	シュッツ、テレマン、ブクステフーデ (カンタータ)	水野克彦	カトリック麻布教会
第25回	2006.11	レヒナー (ヨハネ受難曲)、ゼレンカ (レスボンソリア)	水野克彦	カトリック麻布教会
第26回	2007.10	ブクステフーデ (カンタータ6曲)	水野克彦	カトリック麻布教会
第27回	2008.11	5人のヨーハン (J.S.バッハとその親戚4人)	水野克彦	カトリック麻布教会
第28回	2009.10	メンデルスゾーン、J.ハイドン (レスボンソリア)	水野克彦	カトリック麻布教会
第29回	2010.11	シュッツ、シャイン、シャイト、ブクステフーデ、ブルーンス	水野克彦	同仁キリスト教会
第30回	2011.10	歴代「トーマス・カントル」のバッハ以外の名曲集	水野克彦	日暮里サニーホール
第31回	2012.10	シュッツ、ブクステフーデ (メンブラ・イエズ・ノストリ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第32回	2013.12	16～17世紀のクリスマスと新年の名曲	水野克彦	同仁キリスト教会
第33回	2014.11	シュッツ (ムジカリッシェ・エクゼクイエンほか)	水野克彦	同仁キリスト教会
第34回	2015.11	トーマスカントル (カルヴィジウス、シャイン、T.ミヒヤエル、J.S.バッハ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第35回	2016.11	シュッツ、ブクステフーデ	水野克彦	同仁キリスト教会
第36回	2017.10	ドイツバロック (ローゼンミュラー・パッヘルベル・ブルーンス等)	水野克彦	同仁キリスト教会
第37回	2018.10	18世紀オーストリアの教会音楽 (予定)	水野克彦	同仁キリスト教会

東京アマデウス合唱団のご案内

(2017.10現在)

少人数に適したルネッサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い、隠れた名曲を歌っています。

今後の活動予定は下記の通りですが、少人数のバロックのアンサンブルを一緒に楽しみたい方や興味のある方は、下記をご参照下さい。

(事務局 大久保ルミ子)

来年の演奏会「第37回定期演奏会」

日 時	2018年10月7日(日)(予定)
会 場	同仁キリスト教会礼拝堂
演奏曲目	18世紀オーストリアの教会音楽

<http://t-amadeus.music.coocan.jp>

見学ご希望の方へ(必ず、上記へメール又は下記へ電話でご連絡の上、お出で下さい)

お問い合わせ先

辻村 順子 048-476-4056

大久保ルミ子 03-3960-7714

練習日	毎週水曜日 午後6時半～9時
練習場所	同仁キリスト教会美登里幼稚園2F
指導者	水野克彦
会 費	月 額 5千円(学生半額) 入会金 1千円 この他に、楽譜代・定演参加費(例年4万円程度) がかかります(家族割り・学割あり)

【練習場所への交通案内】右図参照

- ▶ 地下鉄有楽町線護国寺駅6番出口を出て右手に講談社を見ながら直進。大塚警察署の角を右折し、坂道を道沿いに上りきった左手にあり。徒歩5分。
- ▶ JR目白駅から都バス「新宿西口行き」で目白台3丁目下車。徒歩3分。



東京アマデウス合唱団

ソプラノⅠ 辻村順子・中西亜紀子
ソプラノⅡ 名阪雅美・平石幸枝
アルト 上松昭子・大久保ルミ子・大友美佐
大庭裕子・堀江和子
テノール 翁長良二・大庭敏彦・小沢 仁
(テノールⅠ 大庭敏彦・小沢 仁)
(テノールⅡ 翁長良二・柿沼 哲)
バス 柿沼 哲・椎野隆志
中西宏年・山村道男





Tokyo Amadeus Chorus

SINCE 1980